

「医療経営士」情報誌

# 理論と実践

Theory and Practice of Medical Management Specialist



2023 No. 49

特集 医療経営士

# 全国 DATA MAP 2023

新連載スタート

Dr.平野翔大の

「4刀流」複眼指南

連載

医療経営士へ贈ることば

矢野 正子

(聖マリア学院大学名誉学長)

VOICE & OPINION

病院事務スタッフが、

困った医師と

上手に付き合うには

山内剛志

(社会福祉法人

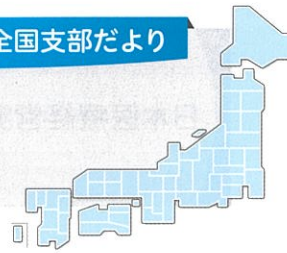
恩賜財団済生会みすみ病院

医事室兼情報システム室兼

診療情報管理室)



一般社団法人  
日本医療経営実践協会



## 学びを忘れず知識の向上を図る 医療経営士としてさらに上を目指すチャレンジ精神を持とう

### 支部ニュース

#### 医療経営士から支部の皆さんへのメッセージ



### 医療経営士、介護福祉経営士として慧眼をもって意見を発していきたい

原 正英 氏  
社会医療法人志聖会  
総合犬山中央病院 事務局  
医療経営士1級  
介護福祉経営士1級



宮崎県に転勤した2016年に、会社の仲間からの「12月に青島太平洋フルマラソンに出よう!」の誘いに「面白そう!」と二つ返事で乗り、それまでハーフも完走したことがないことも気にせず、ゴールデンウィーク明けから毎週土曜に10kmの練習を課し、初めはきつくて歩いていましたが、練習を重ねるにつれ11月頃には50分を切れるようになりました。

本番では30kmまで3時間で通過し、「完走できるかも!」の思いに途端にエネルギーが枯渇し、膝の激痛に耐えながらもなんとか5時間2分で完走できました。この成功体験が挑戦できるものがあることの喜びと刺激となりました。

程なくして、同じ仲間から、今度は医療経営士資格試験というものがあり、当時同業の国内最大手の製薬会社の幹部は3級は必須と聞かされました。受験しようと誘われ、これも「面白そう!」と二つ返事で挑戦した次第です。

その後、名古屋に転勤になり2級試験へと進みました。2級試験では実践的医療経営の真髄を体験でき、時事問題がありとあらゆる場面で出され、試験の奥深さを感じました。2級に合格した際、躊躇なく難関と思われましたが、医療経営を学ぶワクワク感を求めて1級へのチャレンジを始めました。

上級テキスト第1巻『病院経営戦略論』(尾形裕也著)にある、「経営において戦略と戦術は『車の両輪』であり、

第二次世界大戦の主要な作戦における日本軍の『失敗』は、個々の戦闘においては日本兵は優秀で頑強に戦うが、戦略は稚拙で型にはまっており、過去の失敗から学ぶこともなくまた同じ失敗を繰り返す。結局のところ、戦略軽視、戦術重視という日本型組織がもたらした帰結である。つまり、日本の組織、あるいは日本人の思考や発想に関わる基本的な問題がそこにある」との『失敗の本質』(中公文庫)を例にとった文章を読み、衝撃が走ったのを鮮明に覚えており、今でも脳裏に焼き付いています。

1級を取得した現在、意識していることは、その責務を全うするに足る実力を維持でき、さらに進化できているかと自問し続けることです。また、今の日本が直面している政治・経済や「医療・介護等」の課題解決を真摯に考える日々を送っている気概があります。

日本の医療・介護制度は、まさに日本の経済状況の影響を受け、診療報酬等に反映されています。日本の名目GDPは1990年から28年間で2割しか増えていません。その間に他のG7国は2~3倍になっています。2002年国民一人当たりGDPは2位でありましたが、現在は、世界25位に凋落しています。日本の実質賃金の推移を見ても、2004年から9%下がっており、日本はこの30年間、経済成長をほとんどせず「失われた30年」と揶揄されているのが現状です。

今、日本が直面している超高齢社会の下、減少し続ける出生数は生産労働人口を逼迫させ、税収を上回り

### 東海支部 DATA

【設立】2012(平成24)年2月

【支部長・理事長】

井手 宏 愛知県医療法人協会理事、医療法人財団愛泉会理事長

膨張する歳出、ワニの口は拡大し、年金、医療、介護、子育てに資する費用捻出は、コロナ渦で静かなる有事であると言えます。

岸田政権下、明石市モデルの成功事例を基に2023年経済財政運営と改革の基本方針が出され、異次元の少子化対策費3.5兆円の政策方針が出されました。財源を

国債、消費税ではなく社会保障費での負担としましたが、概要が明確になっていません。財務省、厚労省、日本医師会の苦悩が分かります。

骨太方針が箱庭の盆栽にならないよう、医療経営士、介護福祉経営士として慧眼をもって意見を発していきたいと思っています。

### 会員からのメッセージ



#### 医療DXの推進は、現場とのコミュニケーションが欠かせない

鈴木 一海 氏  
医療法人徳洲会 静岡徳洲会病院  
情報システム管理室  
医療経営士3級

私はIT企業、官公庁で勤めた後、現在は病院内SEとしてシステム業務全般やセキュリティ運営に携わっています。

医療業界は未経験のため、当初は院内の多岐に渡る業

務や目的が分からないままシステム対応をしていました。そんな中、事務長の勧めがきっかけで医療経営士を取得しました。学習を通して医療政策の動向や院内の全体像を掴めるようになったことで、各部署への確な対応が以前よりもできています。

医療DXが目される中、当院も新たなシステムの導入が続いており、職員の業務効率化や患者様の利便性向上を図っているところです。SEとして利用者本位のDXを推進するために、双方向のコミュニケーションと自己研鑽を大切にします。



#### 社内外で職種によらず医療経営士の輪が広がるような取り組みを進めていきたい

竹内 恵美 氏  
セイエイ・エル・サンテホールディング株式会社  
経営管理部 兼 株式会社八神製作所 YDX推進室  
医療経営士3級

私は、医療機器卸や介護サービスを行う会社を傘下に抱える持株会社でバックオフィス業務を担っています。経理や総務の専門知識以外にも医療・介護業界の知見を蓄え、広い視野を持って活躍したいと考え、医療経営士

の資格を取得しました。

他の医療経営士の方々の取り組みを協会誌やSNS等で拝見し、データに基づいて施策を打ち出すことの重要性を強く感じており、現在は公開データを用いた医療環境分析を行い、グループ会社向けに提供もしくはセミナーを開催するなど、公開データ活用の啓蒙活動も行っています。

今後は、自身のスキルアップはもちろん、社内外で職種によらず医療経営士の輪が広がるような取り組みを進めていきたいと考えます。



#### 専門職と協働して現場を支え、医療経営士の知識を病院運営に役立てる

芹澤 邦安 氏  
社会医療法人青虎会  
フジ虎ノ門整形外科病院 事務長補佐  
医療経営士3級

私が勤務する病院は、一般127床、回復期41床、療養43床、計211床の整形外科を中心としたケアミックスの二次救急医療機関です。

私は事務職として、専門職の方とコミュニケーションを

とりながら、病院運営に携わる上で重要と考えていることがあります。それは、視野を広く持ち、視座の違いを理解すること。医療法などの関連法規や診療報酬改定等について、正確に根拠を理解すること。必要な情報をタイムリーに入手して、専門職と共有することです。

そのために医療経営士の資格が生きたらと思い取得しました。6月には更に知識を深め、仕事に生かしたいと思い、2級の試験にも挑戦しました。

今後も専門職と協働して現場を支え、医療経営士の知識を病院運営に役立てていきます。